

大津町議会 文教厚生常任委員会行政調査

氏名 大塚 益雄

視察研修名：大津町議会文教厚生常任委員会行政調査

視 察 先：佐賀県基山町、福岡県久留米市、長崎県長与町、佐賀県武雄市

期 日：令和6年7月29日（月）～30日（火）

研修テーマ：基山町「基山っこみらい館の取組について」

久留米市「学校給食共同調理場の整備及び運営の状況について」

長与町「部活動の地域移行の取組について」

武雄市「武雄市図書館見学」

研修報告 意見・感想

文教厚生常任委員会行政調査研修に行った。参加者としては、文教厚生常任委員会委員5名、他2名の計7名。

◇7月29日（月）午前 基山っこみらい館の取組について

研修目的としては、大津町において認定こども園を含む子育て支援施設の整備を検討していて、先進事例として施設整備から現況までを伺い、今後の参考にしていこうとした。

新しい保育所の整備にあたっては、これからのニーズに合った基山町の保育の質と量を確保できるよう基山町立保育所定員250人を基本に、2園での整備がされていた。施設については、子育て関連施設として、子育て世代が集う子育て交流広場を設置し、整備されていた。規模については、新しい保育所整備にあたっては、新しい公立保育所と民間保育所は、ともに定員130人程度の規模とされていた。建設場所については、今後のニーズ、機能を考え基山町役場西側に建設されており、子育てがされていた。また、近くに多目的グラウンド、総合体育館、町民会館、保健センター等々があり、生活するにあたり便利な町であると感じた。

メリットとしては、交流イベントが実施されており、子育て支援の向上につながっている。また、0歳～18歳の人口が平成27年～令和6年まで平均しており、子育て支援が町の大きな魅力であった。

デメリットとしては、町の事業と保育イベントが、土曜日・日曜日に重なるため、町政が必要と言われていた。

◇7月29日（月）午後 久留米市中高等学校給食共同調理場の整備及び運営の取組について

現在、大津町においては、センター型式で給食を提供しているが、町内の人口が増加していることや、センターの老朽化等により、将来的に建て直し等も検討する必要性が出ていることを踏まえ、整備にあたり先進事例として、久留米市のPFIを活用した整備やその後の運営等について伺い、今後の参考にしていきたいという目的で研修した。

久留米市中央学校給食共同調理協は、平成22年8月1日より開所。

供給能力としては、8,000食／日ですが、現在、7,000食／日（14校の中学校）へ供給されていた。

衛生管理の徹底についても、日々作業終了時実施されており、全体的な消毒は大型連休に実施（夏休み、冬休み）を利用して実施する。厨房設備については、最新を導入、また食育推進機能の導入。2階に見学者が調理室を見学できる通路を設置、研修室も整備されていた。

環境への配慮として、玄関のひさしに太陽光発電パネルの設置や、天然ガスの給食配送者の導入など効率が良い方法で運営されていた。また、献立作成についても年間献立計画をもとに2か月前に作成（原案）し、運営委員会の意見を聴いて献立を作成されていた。

◇7月30日（火）午前 部活動地域移行の取組みについて

長崎県長与町での視察研修であり、研修目的については、現在大津町においても、部活動の地域移行の取組みを進めており、先進事例として、長与町の取組みについて伺い今後の参考にしていくこと。

取組みの対象者は、長与町に居住する中学生で、地域スポーツ活動に参加を希望する生徒とされていて、1日活動時間は3時間程度とされている。祝日は原則として休養日、第3日曜日は家庭の日として休養日とされている。月会費として3,000円を支払って参加するようになっていて、活動中のケガに備えてスポーツ安全保険（年間800円）を推奨されている。

指導者謝礼金は、有資格者1,500円／時間、無資格者は1,000円／時間とされていた。ここの部活動については、勝つことが目的ではなく、だれもが好きな種目を楽しくやれることが目的であった。また、高校・大学に行っても部活ができるよう指導されていた。参加者の声として、地域スポーツ活動を楽しんでいると感じていて、参加している生徒は満足していると回答していた。また、友人の幅が広がった。

◇7月30日（火）午後 佐賀県武雄市武雄図書館視察

図書館内にて休憩、食事もできるような館内はゆったりしたスペースが確保され、誰もが自由に読書できるような図書館であった。当日も多くの人（小学生などこども）が利用されていた。

駐車場も広く確保されており、来場される方への対応が良いと感じた。